

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U) (11) 実用新案出願公開番号

実開平 7-10705

(43) 公開日 平成7年(1995)2月14日

(51) Int. Cl. ⁶

G 0 2 B 6/26

識別記号

庁内整理番号

9317-2 K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1

O L

(全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-40635

(22) 出願日 平成5年(1993)7月26日

(71) 出願人 000005290

古河電気工業株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号

(72) 考案者 新井 米秋

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号 古河
電気工業株式会社内

(72) 考案者 須賀 繁

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号 古河
電気工業株式会社内

(72) 考案者 鈴木 義之

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号 古河
電気工業株式会社内

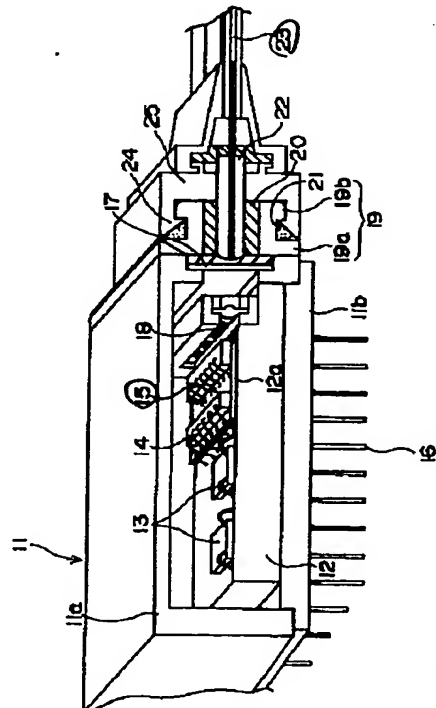
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【考案の名称】 レセプタクル型多芯光伝送モジュール

(57) 【要約】

【目的】 本考案は、接続損失が小さく、しかも容易に着脱可能なレセプタクル型多芯光伝送モジュールを提供することを目的とする。

【構成】 被接続面に開口部を有する筐体と、前記開口部に取り付けられた透明部材と、前記筐体に収容され、光半導体素子が搭載された基板と、前記光半導体素子と前記透明部材との間に、前記光半導体素子から出射された光を集光して前記透明部材に導くように設置された集光部材と、前記筐体の被接続面に取り付けられたレセプタクルとを具備し、前記レセプタクルは、係止部を有する光コネクタを挿入する挿入部および前記係止部と係合することにより両者を接続する係合部を有しており、前記光コネクタに内挿された光ファイバの光軸と、前記集光部材により集光された光の光軸とが一致するように前記筐体に取り付けられていることを特徴としている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 被接続面に開口部を有する筐体と、前記開口部に取り付けられた透明部材と、前記筐体に収容され、光半導体素子が搭載された基板と、前記光半導体素子と前記透明部材との間に、前記光半導体素子から出射された光を集光して前記透明部材に導くように設置された集光部材と、前記筐体の被接続面に取り付けられたレセプタクルとを具備し、前記レセプタクルは、係止部を有する光コネクタを挿入する挿入部および前記係止部と係合することにより両者を接続する係合部を有しており、前記光コネクタに内挿された光ファイバの光軸と、前記集光部材により集光された光の光軸とが一致するように前記筐体に取り付けられていることを特徴とするレセプタクル型多芯光伝送モジュール。

2

【図面の簡単な説明】

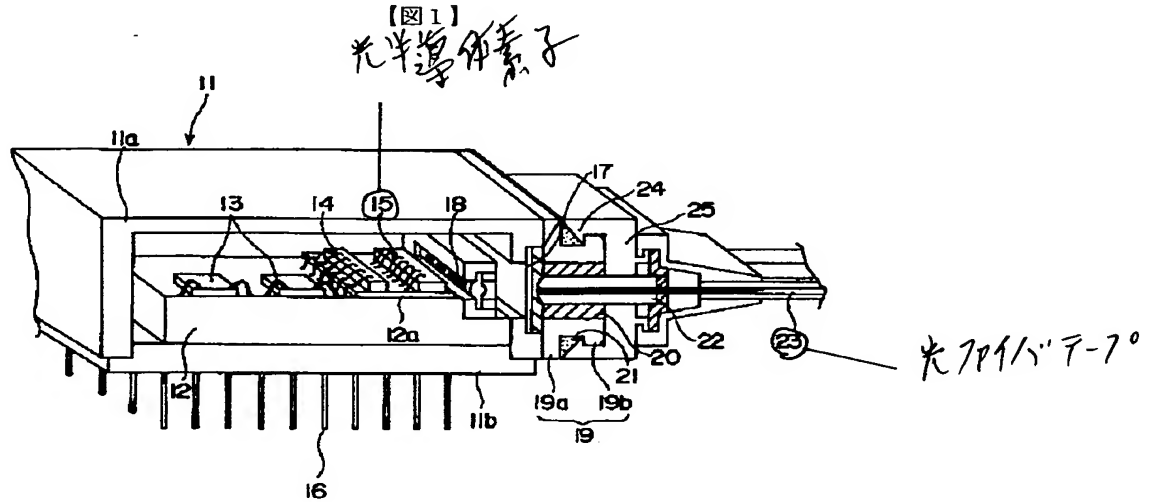
【図1】 本考案のレセプタクル型多芯光伝送モジュールの一実施例を示す斜視図。

【図2】 本考案のレセプタクル型多芯光伝送モジュールの他の実施例を示す斜視図。

【符号の説明】

11…筐体、11a…本体、11b…基台、12…回路基板、12a…補助回路基板、13…電子部品、14…モニタPD、15…光半導体素子、16…リードピン、17…保護ガラス、18…レンズ、19…レセプタクル、20…スリーブ、21…溝、22…フェルール、23…光ファイバケーブル、24…係止爪、25…取付部材、26…スリット。

【図1】



【図2】

